

取組名称：東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築

取組大学：山形大学（代表校）、会津大学、札幌大学、北翔大学、青森中央学院大学、石巻専修大学、東北芸術工科大学、東日本国際大学、明海大学、国際武道大学、了徳寺大学、東京家政学院大学、東京造形大学、日本女子大学、札幌大学女子短期大学部、北翔大学短期大学部、青森中央短期大学、羽陽学園短期大学、いわき短期大学

本取組は、北海道・東北・関東の東日本広域圏の国公私立の大学等が連携し、効率的かつ実質的な教育の質保証・向上システムを確立することを目的とする。この取組の目標は、学生が自己学習力と社会人基礎力を身に付けることにある。

目的・目標を達成するために、(Ⅰ)連携主体的学習、(Ⅱ)連携FD/SD、(Ⅲ)連携IRの3つのプログラムを共同で行う。特に、地域の人たちと一体となって現地体験型の大地連携ワークショップを北海道、山形、首都圏、海外で開講し、学生はこの受講を通して、広い視野と社会性を身に付ける。

目的

学生の自己学習力と社会人基礎力の主体的獲得

3つのプログラムを実施

● 連携主体的学習

- ①学生主体型授業(アクティブ・ラーニング)
 - ②人地連携ワークショップ
- 北海道—山形—首都圏—海外での
現地体験型授業の開講
- 質の高い授業法の開発・実践

● 連携FD/SD

- ①FD合宿セミナー、FDワークショップ、学生FD会議
 - ②大学間連携SD研修
 - ③連携校のFD/SDの深化
- 組織的な教育力の向上
を担う能力の獲得

● 連携IR

- ①学生調査
 - ②学生による授業評価
 - ③ステークホルダーのニーズと満足度調査
- 客観的データによる教育の
質保証・向上の基盤確立

成果を全国に発信

大学とステークホルダーが一体となって
地域社会をダイナミックに変革

